

Library News

古本募金の回収ボックスを設置

平成29年4月11日、弘前大学附属図書館の本館と医学部分館に、それぞれ古本募金の回収ボックスが設置されました。

弘前大学基金「古本募金」は、在学生、卒業生、教職員、一般の方々から書籍（CD・DVD等を含む）を買い取り業者へ送付していただき、その売却代金を弘前大学への寄附金とする取り組みです。東京大学が始めた取り組みとして知られていますが、現在は多数の大学が行っています。古本募金による寄附金は、弘前大学では、学生支援、教育研究活動等に役立てることとなっています。

この古本募金は書籍等を5冊以上送付する場合は送料が業者負担で、Webまたは電話で申込可能です。直接業者へお送りいただくと、寄附者として名前が挙がり、また、買取価格が2,000円以上の場合は税法上の優遇措置を受けることも可能です。弘前大学ホームページに説明が載っています。

5冊より数が少ない、手続きが手間である、運送業者に取りに来てもらうのは都合が悪い、といった場合には、附属図書館に持ち込みすることもできます。回収ボックスの中に寄附したい書籍等を入れるだけでよく、申込書の記入や業者への連絡は必要ありません。図書館では、書籍等がある程度集まったところで、随時買い取り業者へ送付します。



本館に設置された回収ボックス



分館に設置された回収ボックス

「平成28年度附属図書館研修報告会」開催

平成29年3月29日（水）、図書館本館3階グループ・ラーニング・ルームを会場として、図書館関係者向けに「平成28年度附属図書館研修報告会」を開催しました。

この研修報告会は、研修成果の共有と図書館職員の意識向上およびプレゼンテーション能力の向上を目的として、平成26年度より継続して実施しているものです。今回は若手育成の観点から、企画・運営を全て若手職員が行いました。

当日は、本学図書館職員および学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム加盟館の職員合わせて16名が参加し、各研修等に参加した職員5名が報告を行い、最後に中根附属図書館館長から講評がありました。

各人の発表内容のスライドは、図書館HP（<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/local/kensyu/>）に掲載されています。（学内からのみ参照可）